

令和7年
第3回定例会

9月9日開催

上村町長の行政報告

みなさん おはようございます。
昨年の9月議会行政報告でも、「今まで経験しなかった猛暑、という言葉を今年も繰り返すことになり」という内容から始めましたが、これも毎年続くと異常気象とは言えなくなってきたのではないのでしょうか。

上島町ではこの猛暑・酷暑対策として、昨年度から世帯全員が非課税である高齢者や障がい者で、現在居住している住宅にエアコンがない世帯を対象とした設置支援を行なっています。

また、町民の生命と健康を守ることを目的に、一時的に暑さをしのぐための指定暑熱避難施設いわゆるクーリングシェルターとして5つの公共施設を指定しています。

このシェルターについては現在、一般に開放していただける店舗等民間の施設も指定しておりますので、遠慮なくご利用ください。

本日は、令和7年第3回定例会を招集いたしましたところ、全員

先輩方の明るい笑顔に、幸せな気分になりました。

8月5日、初めての試みとして上島町議会主催による「こども議会」が開催されました。これは、上島町の子どもたちが、議会を直接体験することで、行政や町議会の仕組みを学び、議会をより身近なものと感じてもらい、次の世代につないでいくことを目的としています。

当日は町内の中学生10名が議員として参加し、新鮮な緊張感が漂う中、上島町の空き家問題・医療体制・財政状況など日頃感じる身近な疑問が「一般質問」として投げかけられました。

理事者側は真剣かつ丁寧にお答えさせていただく中で、中学生の柔軟で斬新な発想やアイデアもありましたので、事業化を含め今後の町政に生かすよう検討してまいります。

8月18日には、沖縄県宮古島市で開催された第16回国土交通大臣杯全国離島交流中学生野球大会「離島甲子園」に出席しました。開会式にも参加させていただき、堂々としたチーム代表の挨拶や誇り高い選手宣誓に、この離島甲子園が全国規模の伝統ある大会に育ったことを実感しました。また、試合直後に球場外で相手チームと交

出席をいただき誠にありがとうございます。

6月定例議会後の行政活動内容や資料についての詳細は時間の関係上、上島町ホームページ内の町長活動報告に代えさせていただきます、この場においては主な事項のみを報告させていただきます。



6月21日には、「日本スポーツマスターズ2025愛媛大会」のカウントダウンイベントに参加いたしました。この大会は、原則35歳以上のアスリートが参加するスポーツの祭典であり、愛媛県では初めての開催となります。その中で上島町は9月20日、軟式野球の競技会場として生名スポレク野球場が選ばれています。参加する選手は、スポーツ愛好者の中でも競技志向が高く、生涯スポーツの模範となる方々です。

流する上島町の中学生の姿に、この大会の意義を再認識することになりました。

さて、国の来年度予算概算要求基準が8月8日に閣議了解されました。石破首相は先日の9月7日に退陣を正式表明されましたが、来年度予算は石破政権肝煎りの賃上げや物価高対策を含む「重要政策推進枠」を前年度当初予算の2割増しの2兆8000億円を要望可能とし、更には要求段階で金額を具体的に示さない「事項要求」も引き続き認められています。これらの方針により、要求総額は過去最大で、初めて120兆円を超えたことから、例年以上に厳しい予算編成が予想されます。

上島町においては特に国民生活を圧迫している物価高騰対策には引き続き注視し、適宜適切に対応してまいります。

一方、上島町の令和6年度決算における上島町の財政状況ですが、地方公共団体の財政が健全かどうかを判断する4つの指標の中にある、公債費への財政負担と資金繰りの程度を示す「実質公債費比率」は、14・4%となり、前年より0・7%増となりました。増加の要因としては、令和元年度最終処分場整備事業、令和2年年度長崎橋橋

ので、町民の皆さまにはぜひとも会場にお越しいただき、おもてなしを込めた応援をよろしく願っています。

6月22日、関西岩城会、6月29日、近畿愛媛県人会と、大阪で開催されたそれぞれの会に出席し、各界で活躍されている上島町や愛媛県出身の方々とは久しぶりにお会いすることができました。皆さま、遠く離れてはいらっしゃいますが、それぞれの故郷を思うお気持ちに胸が熱くなるのと同時に、町を預かるリーダーとして「ふるさとを守り続ける使命」に、改めて身が引き締まる思いがしました。

7月1日から2日にかけて、東京で離島振興対策要望活動を行いました。業務の合間には、7月1日付で異動された国交省や総務省の上島町に関係する部署の新旧幹部の方々に対して、他部署に異動された方には、今までのご支援やご助言への感謝の意を表すとともに、新たに異動で来られた方には、上島町行政の方向性とPR活動を行ってまいりました。

7月20日投票の参議院議員選挙においては、上島町の投票率が連続して県下1位となりました。国政に関心を持ち続け、日本の将来を決める選挙に積極的に参加し

整備事業等の償還開始にともない、元利償還金の額が増加したこと、臨時財政対策債発行可能額が減少したこと等によるものです。

この14・4%という数値は、国が示す早期健全化基準25%や地方債を借り入れる際に県の許可が必要な団体となる18%を下回っており、健全な数値を示しておりますが、将来的に財政構造の硬直化を招かないよう、今後も地方債の新規発行抑制に努めてまいります。

また、7月29日に愛媛県より普通交付税額の決定通知があり、令和7年度の上島町への普通交付税は33億3310万3千円で、前年度比5405万1千円、1・6%増となっております。その要因としては、地方公務員の給与改定に要する経費や、地方公共団体の施設の光熱費と管理委託料の増加に対応した算定等によるものです。

なお、臨時財政対策債については、地方税収の増等による財源不足額の解消により、平成13年度の制度創設後初めて発行されないこととなりました。

基金残高については、令和6年度において約3億円の取り崩しがありました。主な要因としては、人事勧告にともなう給与改定および会計年度職員の手当支給等に

ていただいている町民の皆さまの行動に、心から感謝申し上げます。

7月30日には区長懇談会を開催いたしました。各地区からの要望については、それぞれ文書で回答し意見交換も行いました。秋には「まちづくり懇談会」も計画しておりますので、町民の皆さまからの声を直接届けていただきますようお願いいたします。

7月31日、愛媛県漁港漁場協会通常総会が松山市で開催され、引き続き副会長に選任されましたので、今後も水産振興に力を注ぎたいと考えています。

8月1日、地域住民の皆さまの新たな移動支援を目的にした上島町デマンド交通、通称「チョイソコゆめしま」の出発式を開催しました。ご案内のように、運行エリアは上弓削と岩城の2地域からのスタートになりますが、これらの実証実験の評価や実績によって、将来的には町内全域へのデマンド交通の展開を検討して参りますので、積極的にご利用いただきますようお願い申し上げます。

8月2日には、ふるさと夜市に参加し、沖縄をはじめ全国各地から里帰りした懐かしい顔に出会えることができました。町内全ての島々からの参加や、若者たちの浴衣姿、

ともなう人件費、公債費等の義務的経費の増加および企業会計への繰出金が高止まりしていることが挙げられます。ただ、地方債残高は令和2年度から6年度までに約30億円減らしており、厳しい中でも健全な財政運営に努めています。

今後は、これまで以上に、行政改革に取り組むことで、町民の皆さまの楽しみを持続させることはもちろん、将来の子ども達にも明るい未来を残さなくてはなりません。

そのためには、限られた財源の中で、安定的な行財政運営に努めるとともに、独立採算が原則である企業会計の使用料の見直しにも着手する必要があります。

特に、財源補てんのために一般会計からの多額の繰入金が必要としている下水道事業会計については、料金改定の検討が必要です。改定スケジュールについては、令和6年9月議会予算決算委員会でお示したように、今年度策定する経営戦略において、中長期の財政見通しを立てたうえで、料金水準の見直しを検討しています。今後、令和8年度に審議会の開催や議会説明、住民周知を行い、令和9年4月から使用料の改定を行う予定としています。

このように、来年度や将来的に